

# 復興金融ネットワークメンバーによる復興に関する取組事例

<b>団体名</b>	農林中央金庫
<b>取組名称</b>	伊達物産株式会社の葛尾村における養鶏事業開始の支援
<b>取組概要</b>	<p>【背景と経緯】</p> <p>農林中央金庫は、平成23年に創設した「復興支援プログラム」の一環として、地域を代表する復興プロジェクトを後押しするための長期低利融資制度「東日本大震災復興ローン(以下、「復興ローン」という。)」による支援を実施している。本件は、当金庫が銘柄鶏「伊達鶏」等のブロイラー生産・加工・販売を営む県内有数の法人である伊達物産株式会社(本社:伊達市)に対して、直営農場新設資金を復興ローンで融資した取組み。</p> <p>【具体的な取組み】</p> <p>震災以前、葛尾村では伊達物産株式会社(以下、「当社」という。)の契約農家4戸が養鶏業を営んでおり、高い飼養技術を有していたが、東日本大震災後に全戸が廃業を強いられ村としての養鶏業存続が危ぶまれてきた。そこで、当社は廃業した農家の養鶏場跡地を活用し、直営農場「かつらお農場」を新設。平成28年6月に帰還困難区域を除く地域で避難指示が解除され、村民の帰還が徐々に進むなか、当社は村の養鶏業再興および帰還村民の雇用創出を目指している。</p> <p>当金庫は、当社の取組みが福島県の養鶏業振興に寄与するだけでなく、被災地の復興・雇用創出につながるものであることから、本農場建設資金として復興ローン100百万円を融資した(平成30年7月)。</p>
<b>取組成果</b>	<p>「かつらお農場」には鶏舎3棟が設置され、10月25日から3回に分けて計4万7千羽の入雛を実施。今後は、年間22万3千羽の生産を計画し、従業員3名の雇用も予定している。12月に迎えた初出荷では、良好な生産実績を修めた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>鶏舎内の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>かつらお農場竣工式の様子</p> </div> </div>
<b>URL等</b>	<a href="https://www.nochubank.or.jp/news/branch_news_release/2018/post-96.html">https://www.nochubank.or.jp/news/branch_news_release/2018/post-96.html</a>